

解 答 速 報

福岡大学 医学部 英語

2024年 2月2日実施

〔I〕

これらの雑誌の読者たち自身が狩猟者であったことからすると、そうした雑誌におけるキツネ狩りに

についての言及内容や議論はほぼ例外なく相変わらず肯定的なままだった。

〔II〕

22	23	24	25	26	27	28	29
1	1	1	4	1	6	2	0

〔III〕

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
30	31	32	33	34	35	36	37
2	1	1	3	2	4	3	4

〔IV〕

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
38	39	40	41	42	43
2	5	3	4	1	2

〔V〕

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
A	44	45	46	47	48	49
	6	4	3	7	2	5
B	50	51	52	53	54	55
	1	4	6	7	2	3
C	56	57	58	59	60	61
	4	2	5	7	6	1
D	62	63	64	65	66	67
	2	5	6	3	1	7

〔Ⅰ〕

【全訳】

19 世紀を通じて、キツネ狩りを定期的に行う集団*の数が増えるにつれて、イギリスの定期刊行物には、狩猟に関わる人々や場所や猟果に関する情報の掲載がますます増えていった。さらに、1780 年から 1890 年代にかけて、定期刊行物の発行数が飛躍的に増加した。1780 年代には印刷された定期刊行物は 100 誌にも満たなかったが、1890 年代には約 3,400 誌もの新しい雑誌や新聞が発行されていたのだ。この爆発的な増加と軌を一にして、狩猟専門の定期刊行物の数も大幅に増加した。これらの雑誌の読者たち自身が狩猟者であったことからすると、そうした雑誌におけるキツネ狩りについての言及内容や議論はほぼ例外なく相変わらず肯定的なままだった。

*hunt : (in the UK) a group of people who regularly hunt foxes as a sport. [OALD]

「イギリスに存在した狩猟に関する定期刊行物」に関する英文。例年以上に下線部に至るまでの文脈をつかむ必要性が高まった。下線部しか読んでいないと、the audience of these magazines や sportsman を適切に訳すことができない。普段問題を解くときにも前後と矛盾しない訳にすることを心がけてほしい。なお、sport とはもともと disport という単語であり、前半が消失して sport となったものである。本来の意味は「気晴らし、娯楽」である。この文脈では、イギリスにおける「娯楽」としての狩猟が説明されており、一般に「スポーツ」と訳すと前後の文脈（hunts や “fox hunting”）とそぐわないため、「狩猟」と限定した訳を採用している。

使われている文法・構文自体は、分詞構文や第 2 文型の文であり決して難しいものではない。ただし、この文では “Given that ~” の部分が主文の原因の説明になっているため「~を考慮すると」と訳してしまうと主文とのつながりが不自然になる。このことを見抜くことで自然な訳にすることができる。

〔Ⅱ〕

11. 「イタリアでは、ロックダウン中に、歌手や音楽家がバルコニーでライブ演奏をして近隣の人々を楽しませた」
12. 「フィレンツェにおいて、ワイン販売業者はもともと労働者に違法な酒類を売るためにワイン・ウィンドウを使っていた」
13. 「フィレンツェではワイン・ウィンドウは 15 世紀遅くから 19 世紀にかけて作られた」
14. 「ワイン・ウィンドウはトスカーナにのみ見られる独特の伝統である」
15. 「フィレンツェの伝統的なワイン・ウィンドウは、COVID-19 以前でさえ、ウフィツィ美術館よりも多くの観光客を惹きつけていた」
16. 「多くのワイン・ウィンドウが 1960 年代中頃に起きた自然災害によって破壊された」
17. 「フィレンツェでは、料理やコーヒーを出すためにワイン・ウィンドウを使い続けているレストランやバーもあるが、そのような店は今もなおアルコールの販売を控えている」
18. 「1630 年代に非常に感染力の強い病気がイタリアを襲った際、ワイン販売業者は酢を売るためにワイン・ウィンドウを利用した」
19. 「2020 年に COVID-19 が世界中を襲ったとき、フィレンツェではワイン・ウィンドウ協会が組織された」
20. 「フィレンツェのワイン・ウィンドウは今や危機に瀕しているので、ワイン・ウィンドウ協会は、ワイン・ウィンドウについての人々の意識を高めることによって、その問題に対処しようとしている」

11. 第1段落第1, 2文の内容に合致する。その2文の意味は「2020年2月にイタリアがロックダウンに入ったとき、国民は一丸となって COVID-19（コロナウイルス感染症）と闘った。オペラ歌手や音楽家がバルコニーから歌や音楽で近隣住民を楽しませ、窓からは“*andr  tutto bene*”（「いずれすべてはうまくいくさ」）と書かれたレインボーフラッグが吊るされた」である。
12. 第2段落第1文の内容と合致しない。その1文の意味は「ワイン・ウィンドウ（*buchette del vino*）とは、もともとフィレンツェの労働者階級に余ったワインを直接販売するために使われていた小さな窓のことだ」である。「違法な酒類」という事実は確認できない。
13. 第2段落第2文の内容と合致しない。その1文の意味は「ワイン・ウィンドウ協会のマッテオ・ファリア会長は、ワイン・ウィンドウは 1532年に作られ始め、19世紀まで続いたと私たちに語った」である。1532年は16世紀である。
14. 第3段落第1文の内容に合致する。その1文の意味は「このようなワイン・ウィンドウはトスカナ地方にしか存在せず、かつてはこの地の日常生活の中で当たり前のものであった」である。
15. 第3段落第2文の内容と合致しない。その1文の意味は「ウフィツィ美術館の芸術的な素晴らしさや、フィレンツェで最も有名な大聖堂であるドゥオモの美しさに比べれば、ワイン・ウィンドウはフィレンツェ建築の大いに見過ごされた一部である」である。少なくとも COVID-19 以前においては、「見過ごされていた」ということから、この選択肢における比較は正しくない。
16. 第3段落最終文の内容に合致する。その1文の意味は「20世紀初頭にワインの販売に関する法律が改正されると、『ワイン・ウィンドウは次第に使われなくなり、1966年の洪水で多くの木製のものが永久に失われました』とファリアは語った」である。
17. 第4段落最終文の内容と合致しない。その1文の意味は「川向こうのサント・スピリトでは、レストラン兼ワインバーであるババエが毎晩 19 時～20 時にワイン・ウィンドウでグラスワインを提供している」である。もともとワインを提供するために作られたのがワイン・ウィンドウであり、現在はジェラートなども提供されているが、当然ワインも提供されている。
18. 第5段落第3文の内容と合致しない。その1文の意味は「手で代金を受け取るのではなく、ワイン売りたちは金属製のパレットを窓から差し出し、酢でそれを消毒した」である。酢は消毒するために用いたのであり、販売した商品ではない。
19. 第5段落最終文の内容と合致しない。その1文の意味は「これらのこと全ては、2016年に設立されたワイン・ウィンドウ協会によって記録されており、観光客と地元の人々の意識向上に役立っている」である。2016年は COVID-19 の流行以前である。
20. 最終段落第2～4文の内容に合致する。それらの意味は「現在、すべての窓は保存の対象となっているが、それでも破損や破壊の危機にさらされている。ファリアは、COVID の後、ワイン・ウィンドウに対する態度が変わり始めることを期待している。『すべてのワイン・ウィンドウのそばに標識を掲げたいと思っています。ワイン・ウィンドウが何であるか、その歴史を理解すると、人々はワイン・ウィンドウをより尊重する傾向にあるからです』と彼は私たちに語った」である。これらの内容をまとめたものが、この選択肢である。

〔Ⅲ〕

(a) 2. has been a vast success to

「～における成功」は“success in ～”であり、前置詞 to は不適。

Expansion of the bullet train network () travel on the domestic transportation system in Japan.

「新幹線ネットワークの拡大により、日本において国内交通網_____」

1. での旅が改善した
3. で旅をする機会が増えた
4. での旅にかなりの改善があった

(b) 1. Additional ingredients with

この文の主語は ingredients であり複数であるが、動詞は provides で三単現の s がついているので不適。

() various spices provides a complex and rich flavor to many dishes.

「様々な香辛料_____で、多くの料理が複雑で豊かな風味になる」

2. が入った材料を入れること
3. を加えること
4. を組み合わせること

(c) 1. became stormy

1 の“became stormy”を入れると、stormy と後に続く“flashes of lightning and the sound of thunder”がつながらないので不適。

Swimmers had been enjoying a day with fair skies at the beach until it () flashes of lightning and the sound of thunder.

「泳ぎ手たちは晴れた一日を浜辺で楽しんでいたが、_____」

2. その日は稲光と雷鳴で突然終わった
3. 空が曇って、稲光と雷鳴が続いた
4. 稲光と雷鳴で遮られた

(d) 3. practicing to take off

practice は不定詞を目的語に取らない。また、take off は自動詞だが、an aircraft という目的語が後ろにあるので不適。

As part of their education, pilots undertake safety procedures in great detail when () an aircraft.

「教育の一環として、航空機を_____際、パイロットは非常に詳細な安全対策を行う」

1. 操縦する訓練をする
2. 着陸させることを学ぶ
4. 操縦する

(e) 2. could make delivery in

空所直前の they が“your packages”を受けている場合、人を主語とする“make delivery”は不適。また、they が人を指す場合でも前置詞 in は to でなければならない。

Please write the address on your packages clearly, or else they () the wrong destination.

「小包にははっきりと住所を書いてください。さもなければ間違った宛先に_____」

1. 送られるかもしれません
3. 行くことがあります
4. 着くかもしれません

(f) 4. are exciting

exciting は物事を意味上の主語にとる分詞形容詞なので不適。excited ならばよい。

It is not just children who () about the way that magicians perform their tricks.

「手品師たちがどうやって手品の演技をしているのか _____ のは子どもだけではない」

1. を不思議に思う
2. に好奇心を示す
3. を知りたがる

(g) 3. that was occurred

occur は自動詞で受動態にならないので不適。

There is often an announcement on public transport advising passengers to report any suspicious behavior () to the police.

「公共の交通機関では _____ 不審な行動を警察に通報する旨を乗客に伝えるアナウンスがしばしば行われる」

1. 遭遇するであろう
2. 目撃した
4. 見かける

(h) 4. we preferred

「好み」は「努力」するものではないことから 4. は不適。

When making a decision, the best option may be the one that () with the least effort.

「意思決定をする場合、最良の選択肢は最少の努力で _____ ものであろう」

1. 我々が選ぶ
2. 選ばれる
3. 選ばれうる

[IV]

- (a) contáiner と同じものは 2. expláin [éi]
 1. thóusand [áu] 3. cénter [é] 4. ábsence [æ] 5. hóspital [ó]
- (b) fáscinating と同じものは 5. romántic [æ]
 1. tréatment [í:] 2. líbrary [ái] 3. víolate [ái] 4. locátion [éi]
- (c) apólogy と同じものは 3. mónument [ó]
 1. descríbe [ái] 2. explósive [óu] 4. sátisfy [æ] 5. recóver [ái]
- (d) succéss と同じものは 4. continéntal [é]
 1. respónd [ó] 2. súnset [ái] 3. reputátion [éi] 5. grándmother [æ]
- (e) fréquently と同じものは 1. achíieve [í:]
 2. líterary [í] 3. instéad [é] 4. quéstion [é] 5. bírthday [ó:]
- (f) nótebook と同じものは 2. sófa [óu]
 1. sóuthern [ái] 3. órganize [ó:] 4. fóolish [ú:] 5. góodness [ú]

[V]

A. 6 4 3 7 2 5

You should **have known better than** to leave your assignment unfinished until **the night before** it's due.

日本語がかなり口語的な表現になっているが、<know better than to do ~>「～しないだけの分別がある」と<should have done ~>「～すべきだったのに」を組み合わせた表現にする。「～の前日の夜」は、the night を“before ~”の前に置くことに注意しよう。使わない語は 1. not である。

B. 1 4 6 7 2 3

There is **something charming about** the man **that makes everyone** around him feel at ease.

<There is something 形容詞 about ~>「～にはどこか…なところがある」という表現を使う。後半の that は主格の関係代名詞であり、that に続く部分は <make O C [do]> 「O を C させる」となり、O に“everyone around him”，C に“feel at ease”「くつろぐ」が入る。使わない語は 5. for である。

C. 4 2 5 7 6 1

She was so **occupied with** life in the United States that she didn't so **much as drop a line** to her family.

<be occupied with ~>「～で忙しい」，<do not so much as do ~>「～さえしない」，<drop a line to ~>「～に手紙を書く」といった慣用表現を知っておく必要がある。使わない語は 3. letter である。

D. 2 5 6 3 1 7

Considering that it's raining today, we need to **take into account** the possibility of **the bus being late**.

<take ~ into account>「～を考慮に入れる」という表現を使うが、目的語が“the possibility of the bus being late”と長いため、account の後に回っている。of の後には名詞句の“the bus being late”「バスが遅れること」が続き、the bus が動名詞句 being late の意味上の主語になっている。使わない語は 4. think である。

講評

〔Ⅰ〕[英文和訳] (標準)

「イギリスに存在した狩猟に関する定期刊行物」に関する英文の一部を和訳する問題。難解な語句や文法事項は含まれず、分詞構文や第2文型といった基本的な文法の把握が問われている。ただし、references と discussion を動作ではなく動作の結果の内容と訳せるかどうかや、文脈をとらえて sportsman や positive を訳せるかで差がつくところであろう。

〔Ⅱ〕[長文内容一致] (標準)

「パンデミック下で再注目されたトスカーナ地方伝統のワインの窓」に関する英文。「wine window」という受験生にとって未知の内容が説明されているが、読み進めることで概要は理解できるようになっている。選択肢についてはあまり難しいところはなく適否を判断しやすい。

〔Ⅲ〕[文法四択] (標準)

2021年度以来の「適していない」選択肢を選ぶ形式である。文型、態、主語と動詞の呼応等に注意して取り組めばさほど無理なく正解を導くことができる標準的な難易度である。

〔Ⅳ〕[発音アクセント] (易)

昨年度は母音について「異なるもの」が問われたが、今年度は例年通り「同じもの」を選ぶ形式に戻っている。出題されている単語の発音・アクセントは分かりやすいものが多く、完答も十分狙える問題である。

〔Ⅴ〕[語句整序] (標準)

基本的な文法や語法をしっかりと学んでいる受験生には解きやすい問題である。やや難易度の高いイディオムの知識も問われている。

〔Ⅲ〕が「適していない」選択肢を選ぶ形式になり、全体として2023年度よりも難化している。目標は65%

医学部専門予備校・英進館メビオ 福岡校

【対象】医学部を目指す高卒生、高校生、中学生、保護者様

医学部 合格の ための 個別相談

開催日	会場
2/4日	福岡 英進館メビオ福岡校
2/11日	福岡 英進館メビオ福岡校
2/12日	福岡 英進館メビオ福岡校
2/18日	福岡 英進館メビオ福岡校
2/23日	福岡 英進館メビオ福岡校
2/25日	福岡 英進館メビオ福岡校
3/3日	福岡 英進館メビオ福岡校

開催日	会場
3/10日	福岡 英進館メビオ福岡校
	熊本 TKP熊本カンファレンスセンター
3/17日	福岡 英進館メビオ福岡校
	小倉 TKP小倉駅前カンファレンスセンター
3/20日	福岡 英進館メビオ福岡校
3/24日	福岡 英進館メビオ福岡校
3/31日	福岡 英進館メビオ福岡校

英進館メビオ福岡校
福岡県福岡市中央区渡辺通4-8-20 英進館天神本館2号館2階

会場住所
TKP小倉駅前カンファレンスセンター
福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2 小倉興産16号館
TKP熊本カンファレンスセンター
熊本県熊本市中央区花畑町4-7 朝日新聞第一生命ビル

相談無料 **事前予約制** ご希望の日時をホームページからお申し込みください。

英進館メビオコース紹介

- ① 医学部本科選抜コース (少人数クラス授業)
- ② 医学部本科コース (少人数クラス授業)
- ③ 医学部本科個別指導コース
- ④ 医学部現役個別指導コース

英進館メビオの特長

少人数クラス授業、年間授業約1,500時間
他の予備校にはない圧倒的な授業時間数!

特待制度
(学費等の減免)
あり

詳細につきましては個別相談で説明いたします。

個別相談はご本人のみ、保護者様のみでの面談も承ります。



個別相談へのお申し込み・お問い合わせは下記フリーダイヤルまたは英進館メビオホームページよりお気軽にどうぞ。

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-8-20 英進館天神本館2号館2階

フリーダイヤル

0120-192-215

オンラインでの個別相談も随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

HP <https://www.mebio-eishinkan.com> またはこちらのQRコードから

